

備前市施策評価シート

(平成20年度事業)

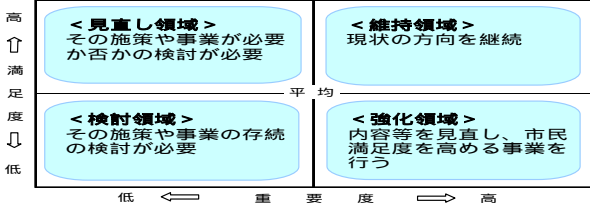
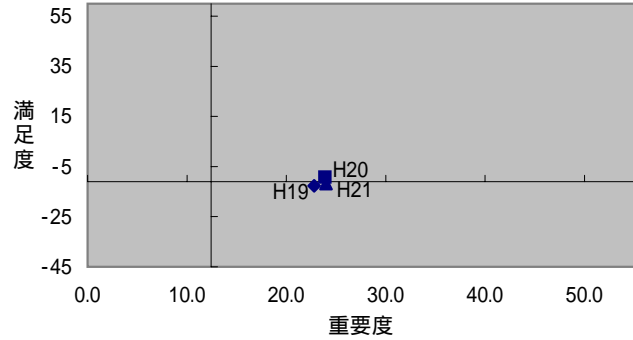
施策名 (小項目)	母子保健(歯科保健含む)	コード	02-02-01	作成者	保健課長 有吉隆之
		役職		氏名	
		電話	64-1819		

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	大項目(基本目標)	健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目(基本施策)	健やかで生き生きしたまちづくり
施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	市民が安心して子どもを育てるようになる。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	少子化傾向が強まる中、公衆衛生の向上や医療技術の進歩により、多くの病気を治せるようになってきた。しかし、家庭や地域における子育て機能の低下、児童虐待の増加、肥満に関連した生活習慣病の出現など新たな問題も発生している。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 一貫した母子保健の推進(母子手帳交付、育児相談事業、妊婦及び乳幼児の健康診査、乳児全戸訪問など) 感染症予防(予防接種) 生活習慣病予防(食育) 	

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21	H22
重要度(%)	22.8	23.9	24.0	
満足度(%)	-12.7	-9.2	-11.8	



調査結果に対するコメント、市民の反応等	安心して子育てができる環境を多くの市民が望んでいる。住みよいまちとは家庭や地域に教育力があるところと多くの市民が認識している。しかしながら、「安心して子どもを育てることができると感じている市民の割合」は、H19年18.0%、H20年12.1%、H21年12.4%と低い数値となっている。
---------------------	---

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		評価年度	成果指標・計算式・ベンチマークの説明	目標値	
		H18	H19	H20		H21	H22
成果指標 乳幼児健診受診率	目標	%	90.0	90.0	90.0	H21	90.0
	実績	%	82.0	81.7	82.7	H23	95.0
	達成率	%	91.1	90.8	91.9	H28	95.0
	ベンチマーク		82.8	85.2		岡山県の受診率	-
参考指標 3歳児検診時麻疹接種率	目標	%	95.0	95.0	95.0	H21	95.0
	実績	%	94.4	97.1	96.8	H23	95.0
	達成率	%	99.4	102.2	101.9	H28	95.0
	ベンチマーク		92.9	93.8		岡山県の3歳児麻疹接種率	-
参考指標 3歳児肥満率	目標	%	2.0	2.0	2.0	H21	2.0
	実績	%	3.4	7.1	5.9	H23	2.0
	達成率	%	170.0	355.0	295.0	H28	2.0
	ベンチマーク		6.1	5.9		岡山県の3歳児肥満率	-
参考指標 3歳児朝食欠食率	目標	%	10.0	10.0	10.0	H21	10.0
	実績	%	13.3	10.5	6.4	H23	10.0
	達成率	%	133.0	105.0	64.0	H28	10.0
	ベンチマーク						

施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業 評価結果 A-E (高-低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									施策への 貢献度	経費の 性質 義務的 計画事業 その他	平成21年度 5月補正後 予算額 一財ベース	
				平成18年度			平成19年度			平成20年度						
				直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数				
1	乳幼児等健康診査事業	B	健康被害予防事業	補助	1,081			1,001	2,569	0.45	1,158	2,924	0.52		その他	294
			1歳6ヶ月児健康診査事業	法定	566			712	2,122	0.40	636	1,521	0.30		その他	685
			2歳児歯科健康診査事業	単市	648	9,075	1.65	452	1,844	0.35	375	1,148	0.24		その他	375
			3歳児健康診査事業	法定	1,501			1,019	2,398	0.44	1,006	1,802	0.34		その他	1,078
			妊婦乳児健康診査事業	法定	5,532			7,722	1,164	0.16	11,818	10,247	2.37		その他	21,929
2	母子相談事業		育児総合相談窓口設置事業	単市	85			112	4,639	0.97					H19終了	
			母親・両親学級事業	単市	16	6,060	1.05	4	574	0.10					H19終了	
			幼児クラブ事業	単市	5			5	894	0.15					H19終了	
3	マザーズスクール事業	B	マザーズスクール事業	補助	4,605	2,415	0.40	4,557	2,362	0.39	2,657	1,431	0.22		その他	1,355
4	予防接種事業	B	予防接種一類	法定				19,009	1,457	0.22					H19終了	
			予防接種二類	法定				17,852	891	0.14					H19終了	
			予防接種事業	法定	33,609	3,580	0.55				45,205	1,576	0.31		その他	45,867
この施策に費やした資源(単位:千円,人)					平成18年度	平成19年度	平成20年度								計	
					47,648	21,130	3.65	52,445	20,914	3.77	62,855	20,649	4.30			71,583

以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
保育園	乳幼児健康診査事業・予防接種事業	要観察児のフォロー
幼稚園	乳幼児健康診査事業・予防接種事業	"
中央公民館	ブックスタート事業	4ヶ月健診時に読み聞かせ

施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 役割分担の妥当性 (市の関与、協働の可能性)	4	一貫した母子保健の推進のため市が実施すべき事業である。	3	母子保健の推進のため市が実施すべき事業である。
2 事業構成の妥当性 (実施手段)	4	妊娠期から就学前までの各期に応じた事業構成となっている。	4	母子保健の主要な事業であり、事業構成は妥当である。
3 施策の有効性 (指標分析、評価年度・中長期の達成度)	4	乳幼児期の健康サポート体制は、利用しやすさを基準に企画している。	4	子育ての悩みや不安が解消されており有効な施策である。
担当への指示 (今後の展開、事業見直し、新規事業創出等)	安心して子育てができる環境は、多くの市民が望んでいる施策である。この施策を充実させ、家庭や地域の教育力推進を図り、住みよいまちづくりの実現を図る。			
二次評価者コメント	今後とも母子の育児不安を打ち明けられることができる等、お互いの信頼関係を構築し、妊娠期から就学期までの一貫した支援をしていく必要がある。		基本施策への貢献度	翌年度予算の方向性
役職 民生部長 氏名 山口 和夫			4 やや高い	平均的な配分